

2020年10月1日に現代社会総合研究所 IR チームが研究協力者として大阪咲州庁舎で意見交換を行いました。（IR 推進一カジノ誘致）



（咲州庁舎 41 階会議室にて）

現代社会総合研究所 IR チームでは、IR 推進に積極的な「長崎」「大阪」「名古屋」などを対象にそれぞれの担当グループに分かれて調査とディベートを繰り返してきました。今回、長崎県庁の IR 推進課に続き大阪咲州庁舎を訪問し、2 時間近い討論を行いました。

論点は、IR 推進に係る大阪の状況、治安や依存症などへの地域住民の懸念、外資企業の参入、コロナの影響による計画の遅延、地元への経済効果など多岐にわたりました。

大阪府と大阪市が一体となって進めてきた IR は、夢洲という建設予定地を見れば現実的になっています。その敷地面積は約 49ha で投資規模は約 9300 億円を見込んでいます。また年間来場者数は 1500 万人、年間売り上げ予想の 4800 億円のうち、カジノ行為粗利益を 3800 億円と予想しています。

参加メンバー（経済学部総合政策学科 3 年）：船岡麻礼・箱石小百合・柳 秀昌・齊藤祐己

文責：澁澤健太郎（経済学部教授・現代社会総合研究所運営委員）